

【灯】 「県内巡りのすゝめ」
<2024/1/18 大分合同新聞掲載>

大分に赴任して以来、お会いする方々に、当地のお薦めスポットを尋ねてきました。すてきな場所やイベントをたくさん紹介していただいた一方で、中には「はて…」と困った表情を浮かべる方も。「転勤で来た人の方が私たちより詳しくなるんですよ」などと言われて、こちらが驚くこともありました。

最近、県内の観光地は、インバウンド（訪日客）を含めた観光客でにぎわっていますが、大分の人にとっては、何となく盲点になっていたり、いつでも行けるからと言って、結局行かずじまいだったりするようです。でもそれって、もったいないくないですか？

先ごろ、大手旅行サイト運営会社が宿泊客を対象に実施した調査で、大分県が2022年度の「総合満足度」1位に輝きました。「魅力的な宿泊施設が多かった」も1位です。これほど高く評価されているサービスを大分県民自身は味わっておらず、県外の人ばかりが楽しんでいるのだとすれば、実にもったいない話だと感じます。

アフターコロナで旅行をする機会が戻ったとはいえ、予算やスケジュールの制約もあって、年に何度も遠出をするのは難しい。そんな中、車や公共交通機関で気軽に行ける地元の観光地は、骨休めや家族団らんには格好の場所だと思います。ぜひわれわれこそが県内を巡って、温泉や自然、文化財やグルメなど、大分の魅力を楽しもうではありませんか。（日本銀行大分支店長）